

議員提出議案について

令和5年第6回筑紫野市議会定例会（12月）において、次の発議を提案し、可決しましたので、その内容をお知らせします。

発議第8号	教員不足解消のため定数増など抜本的な改善を求める意見書について
<p>【趣旨】</p> <p>近年、教員不足が顕著な状況になっており、学校現場では、この教員不足を補うために様々な影響が出てきています。</p> <p>このような中、教員の負担は増える一方であり、このまま教員不足が続くと教育の目的が遂行できないことが危惧されます。</p> <p>そこで、これらの状況を打開するために、教員採用の権限を持つ福岡県に対し、教員不足解消のため定数増など抜本的な対策を講じるよう強く求めるものです。</p>	

発議第9号	医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書について
<p>【趣旨】</p> <p>介護事業所や障害福祉事業所では、人材の確保・定着が難しく、運営に支障をきたす事態が深刻になっており、公的に定められた人員配置基準は何とか満たしたとしても、現場で必要としている職員数に満たない欠員状態が続く事業所が多いのが現状です。</p> <p>このまま、低賃金や人手不足による過酷な労働を強いられることが続けば、職員の離職に歯止めがかからない状態に陥り、施設の運営も困難となり、必要な福祉サービスの提供ができなくなる恐れがあります。</p> <p>よって、政府に対して、介護職員等の賃金水準を確保するための制度改革と同時に、職員の人権を尊重し生活を保障する取り組みを迅速に推進することを強く求めるものです。</p>	